

## 「広瀬川創生プラン改定(案)」に関するご意見及び本市の考え方について

### (1) プランの体系・構成に関する意見 15 件

番号	ご意見の概要	本市の考え方
1	これから10年間で何を指すのか不明瞭です。例えば、アンケート回答の数値目標を立てる、取組事業リスト数を完了した事業も含める等して増やすなど、中間見直しや10年後に検証する指標を設定するべきではないでしょうか。	いただいたご意見を参考に記載内容を検討してまいります。 尚、プランの推進状況につきましては概ね5年を目途に見直しを実施するものとしております。
2	すでに行われている活動の羅列が多く、今後10年の方向性が見えてきません。	
3	これまでの10年とこれからの10年における、時代の潮流の変化をどのように捉えているのか、明示するべきではないでしょうか。	
4	広瀬川は仙台市にとって重要な都市ブランドと思われませんが、そのような外向きの視点が見えてきません。そのため内輪の取り組みに見えてしまうのだと思います。	「仙台市みどりの基本計画」においても、広瀬川は仙台らしさを育む軸として、非常に重要な存在と考えております。市民の方が思う広瀬川の姿をフォーラム等の機会をとおして掘り起し、情報を内外に発信してまいります。
5	「杜の都・仙台市のシンボルであり、市民の誇りである広瀬川」とあり仙台のブランド力を高める重要な視点であります。何をもちょうシンボルとして象徴化させていくのか、明示すべきではないでしょうか。	
6	各事業のスケジュール・ロードマップ、PDCAサイクルをまわすための仕組み、フォローアップに対する地域・住民参加やPRの在り方について検討が必要ではないでしょうか。	
7	「<改定>を行う理由」に記載のある「新たに見えてきた課題」を明示すべだと思えます。またその課題に対してどのように対処するのか、具体的な施策の方向と取組事業の年次計画と具体的な指標を示し、取組事業が成果をあげているか、3年または5年のスパンで評価すべきではないでしょうか。	多様な主体が協働可能で、多くの市民が関わることができ、波及効果が大きいソフト事業から重点事業を選定し、毎年度事業内容を評価し、反省点を次年度の実施に活かすこととしております。成果・評価につきましては広瀬川ホームページ等で公表し、効果的にプランを推進できるよう検討してまいります。 また、見えてきた課題と、その対策につきましては、頂いたご意見を参考に記載方法を工夫いたします。
8	重点事業の取り組み効果や成果が明記されておらず、計画が効果的に推進されている事業なのか疑問です。	

9	様々な主体が行う事業がとりまとめられていて広瀬川流域での取組の状況を把握するには素晴らしいものだと思います。	取組事業は毎年見直しを実施し、広瀬川ホームページ上で情報を発信してまいります。
10	「広瀬川の清流を守る条例」への視点はなくてもよいでしょうか	市の取組事業のひとつとして「仙台市清流保全審議会の運営」を掲げ、当該審議会において広瀬川の清流を守る条例の規制内容や様々な整備内容を審議することとしております。
11	地下鉄東西線開業により、西公園へのアクセスに変化があると思われませんが、そのようなことへの対応の視点も読み取れません。	駅周辺には適切な誘導サインの設置を検討してまいります。
12	震災による河口部（名取川ですが）の環境変化への視点は不要でしょうか？	平成24年度には、東日本大震災によって自然環境が大きく変化した地域の自然環境調査を実施し、現状把握に努めております。
13	「広瀬川の本流以外にも、その支流や名取川合流後の河口までを含めることとしている」とありますが、広瀬川流域の公園や民地なども含め一体的に捉えていく視点が重要です。	治水・利水・環境・利活用など様々な側面から流域を一体的に捉え、プランを推進してまいります。
14	仙台市の関連計画や、関連する条例をどのように捉え、またはどのように反映されているのか、明示すべきだと思います。	当プランは、仙台市が提唱し、市民・NPO・企業・行政の協働により策定されたもので、仙台市の施策のみならず、国・県や市民の取組みも集約・体系化したものとなっております。 今後とも、関連計画や関連条例との整合を図りながら、プランを推進してまいります。
15	ソフト中心の取り組みを実施する中でハードの取り組みに結び付いた、もしくはまちづくりに反映されたことが検証されると、「まちづくりに生かす方向性を模索」の実現に繋がるのではないのでしょうか。	宮沢緑地をモデル地区として広瀬川市民会議が勉強会を開催し「16項目の提案」としてとりまとめ、8項目が実現しています。また、澱地区におきましては宮城県が主催するワークショップにより、住民意見を反映させた整備を実施した実績がございます。これらの事例を参考として、今後とも検討を進めてまいります。

(2) 協働の仕組みづくりに関する意見 17件

番号	ご意見の概要	本市の考え方
16	<p>広瀬川に関する活動団体の協働・連携・参加不足が現状と変わらないことを懸念しています。</p>	<p>広瀬川に関する市民協働の推進母体である「広瀬川市民会議」の運営体制について、広瀬川1万人プロジェクト実行委員会等との提携により企業参画を促進することで事務局の強化を図るもとともに、市民ファンドの設置を目指し、活動の活性化とネットワークへの参画のメリットの創出を図るものとしております。</p> <p>プランの推進の際には、広瀬川に関心を持つ多くの市民や学生が気軽に参加できる仕組みにつきましても、頂いたご意見を参考に検討してまいります。</p>
17	<p>市民会議、市民団体に、新しい市民参加を図る事が必要ではと考えています。実感として、長く活動すると疲労するものです。人材発掘と育成が大切です。</p>	
18	<p>市民会議の事務局体制の強化には当然、専従の事務局員が不可欠であり、資金確保が必要です。</p>	
19	<p>「広瀬川1万人プロジェクト実行委員会」との連携、その他の広瀬川で活動している団体を名簿化し、「広瀬川市民会議」への協力と、各団体が実施する事業（イベント）への相互協力体制を図れる組織づくりが必要です。</p> <p>また、各事業の内容と参加団体を広瀬川ホームページに掲載し、もっと大きい協力体制の組織が形成されれば、「広瀬川市民会議」の課題も解決すると思えます。</p>	
20	<p>広瀬川市民会議は、主体的に良い活動をされていると思いますが、ネットワーク組織として位置づけされていないと思います。</p>	
21	<p>組織体制の強化とは、何をもちって位置づけていますか？具体的なイメージがわかりません。</p>	
22	<p>広瀬川創生プラン策定時の趣旨に立ち返る必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の市民会議を、広瀬川にかかわる活動体の連携事務局と組み替える</li> <li>・もしくは連携事務局を新たに設置（例えば、仙台市直営 OR 新たな組織）</li> <li>・連携事務局の業務は、情報の受発信、連携市民会議に集う諸団体の支援とする</li> </ul>	
23	<p>広瀬川基金、ファンドを本格的に運用していく方向は良いと思うが、中心になる市民会議（現在の体制）が主体的にその運営を担う方向性を志向しているか不明です。</p>	

24	<p>広瀬川の問題、課題は沢山存在します。関係行政、関連団体や市民の話し合う場づくりは多面的に必要です。それらについては、市民の声の聞き方や対応について検討すべきと思います。</p>	<p>広瀬川には様々な側面があり、求められる姿も地域・人・団体・目的によって異なります。様々なテーマについて市民の話し合いの場を提供し、広瀬川についての関心を高めながら、広瀬川の魅力や、抱えている課題などを共有し、協働によるプラン推進を図ってまいります。</p>
25	<p>広瀬川を「市民共有の財産」と位置づけて街づくりの視点を強化し再構築を図る趣旨には大賛成です。基本理念に基づく6項目の目標と方向性も得心です。団体間の交流・斡旋活動をさらに期待します。</p>	
26	<p>川と共に生きる「類似自治体」との意見交換や取組比較により、新たな気づき、モチベーションが維持向上できることが期待できると思います。</p>	
27	<p>仙台市内のボランティアガイドの団体と横のつながりができれば、もっと活動の幅が広がっていくと思います。そのような横のつながりを活かして、ガイドの知識やスキル向上を目指したいと思います。</p>	
28	<p>年に1度、誰でも参加できて方向性や計画を決められるようなフォーラム、ワークショップを開催してはどうでしょうか（仙台市主催）。主催をすることで、仙台市における広瀬川の重要性が市民に伝わります。「広瀬川にどんな問題があるの？なにが問題になっているの？」という意見もあります。</p>	<p>プランの推進の際に、「広瀬川市民会議」において、様々な活動団体のネットワークとして互いに協力できる仕組みを検討するとともに、「広瀬川市民会議」が設置を目指す市民ファンドにつきましても運営方法を検討してまいります。</p> <p>また、河川敷地における営利事業者による事業活動は、「河川敷地占用許可準則」の「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例」に基づき、河川管理者による「都市・地域再生等利用区域」の指定や、地域協議会による検討等の一定の要件を満たすことで実施可能な仕組みとなっております。これらには、地域の方の理解が不可欠であることから、今後もフォーラム等を通して広瀬川に対する関心が高まるよう、事業を進めてまいります。</p>
29	<p>事業を実施する上で必要なリソース（資金、人材、備品・機材）の提供と規制緩和（相談や協議など）が受けられることが必要と考えます。</p>	
30	<p>規制緩和により、広瀬川および川沿いにおいて、広瀬川の豊かな自然環境や景観を活かした収益事業を許容することで、民間企業の参画も得やすくなり収益の一部をファンドに還元して公益活動の原資とすることも考えられます。</p>	

31	「広瀬川市民会議」の色々な事業に参加・協力していますが、ネットワークに参加して何を担うかわからないところもあります。	今後のネットワークの仕組みづくりにおいて、参画団体の役割および参画のメリットを明確に示し、安定したネットワーク形成を図ってまいります。
32	主に「広瀬川1万人プロジェクト」に参加（協力）していますが、本業とのバランスが難しく、100%協力できていません。	

**(3) 整備・維持管理に関する意見 13件**

番号	ご意見の概要	本市の考え方
33	広瀬川の川原で一番広いのは宮沢橋界隈です。せめて子どもの為のトイレと水飲み、駐車スペースさえ完備すれば河川公園としての機能が果たせると思います。	河川公園の新規施設整備につきましては、河川管理上の制約もあり、困難な状況でございます。トイレや水飲み場につきましては、近隣の街区公園に整備することなどにより対応しております。
34	春は花見、夏はボート、秋は芋煮会、冬はサケの観賞会など、年間通してのイベントが行われています。植樹とアウトドア設備の設置・充実を望みます。	既に存在するご利用可能なトイレ施設につきましては、広瀬川ホームページ上でトイレマップを公表し広瀬川の利用を促進してまいります。
35	目標「親水性の向上」に基づき、都市公園内の水飲み場・トイレ・駐車場の整備推進を図るべきだと思います。遊べる環境を整えることで、より多くの方々に広瀬川に来て長く滞在していただき、広瀬川をもっと身近に感じていただけるはずです。	

<p><b>36</b></p>	<p>「広瀬川フットパス整備事業」を是非プランに加えてください。</p> <p>広瀬川沿いを川から離れることなく、広瀬橋から牛越橋に至る「こみち」です。あえて遊歩道ではなく小径とすることで、整備の低予算化ができますし、そのちょっとした危なさやスリルがより多くの注目と、より多くの観光客やトレッカーを集める事に繋がります。現状あるルートを最大限活かし、その上で数カ所を沈下橋や飛び石などで渡れるように整備すれば、短期間かつ低予算で仙台のアピールポイントをひとつ増やすことができますと思います。ルート作成や整備方法については、市民参加型をお願いします。</p>	<p>川を渡るための飛び石や沈下橋・棧橋等につきましては、利活用のみならず、治水および安全面を最大限に考慮する必要があることから、河川管理者にご意見を伝えてまいります。</p> <p>また、広瀬川沿いの散策ルートにつきましては、現在も配布しております本市河川課の散策マップに掲載する散策ルートの見直しの際に、市民の意見を取り入れられる方法を検討いたします。</p> <p>河川敷地における営利事業者による事業活動は、「河川敷地占用許可準則」の「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例」に基づき、河川管理者による「都市・地域再生等利用区域」の指定や、地域協議会による検討等の一定の要件を満たすことで実施可能な仕組みとなっております。これらには、地域の方の理解が不可欠であることから、今後もフォーラム等を通して広瀬川に対する関心が高まるよう、事業を進めてまいります。（再掲）</p>
<p><b>37</b></p>	<p>浅瀬を渡る箇所などをつくり、広瀬川の散策路を整備すれば川沿いを歩くことができます。</p>	
<p><b>38</b></p>	<p>川辺（河川区域）や公園など行政が監理するスペースにおいてカフェやマルシェ等の収益事業とそのためのテラス等環境整備や、沈下橋や潜り堰の設置による広瀬川とその川沿いの流域散策の回遊性を高めるなどが考えられます。</p>	
<p><b>39</b></p>	<p>護岸には河畔林がまだ残っています。機能優先で伐採するのではなく管理して保全して下さい。</p>	<p>河川区域内につきましては、河川管理者が自然環境に配慮しながら管理しております。いただきましたご意見は河川管理者に伝えてまいります。</p>
<p><b>40</b></p>	<p>河川敷が豊富にあり、美しい河川公園ができる可能性があります、 unnecessaryな植栽や施設、維持管理されていないものも多くみられます。</p>	<p>自然環境の保全や周囲の景観との調和及び維持管理につきましては、関連する条例・計画等を適正に運用・実施してまいります。</p>
<p><b>41</b></p>	<p>大橋、霊屋橋など美しい橋がまだ残っているので、橋の景観、色彩、周囲の景観との調和を考えた整備を計画して下さい。</p>	<p>看板につきましては、屋外広告物条例の適正な運用により、良好な景観形成を誘導してまいります。</p>
<p><b>42</b></p>	<p>お寺や神社などがあり、歴史的景観がある一方で、景観を壊している看板、標識などが見られます。</p>	
<p><b>43</b></p>	<p>宮沢橋の堰は夏はアユ、冬はサケの川登りが見られるところです。魚達の遡上にもっと工夫をしてください。魚達が可哀想で見えてられません。</p>	<p>愛宕堰は将来的に、老朽化の著しい固定堰から、利水・治水・環境に配慮した新堰に改修したいと考えております。</p>

44	<p>プランの活動拠点、PR 発信として拠点整備を望みます。また、プラン実行の道具として活動団体が使用する格納庫の併設を望みます。</p>	<p>プランの活動拠点につきましては、協働の仕組みの構築と合わせて検討してまいります。格納庫などの個別の目的の施設につきましては、協働の仕組みを確立した後に、必要性を考慮してネットワークの中で話し合われていくべきと考えております。</p>
45	<p>宮城県で実施する河川改修工事では、河床がグラウンドの様に均され深みがなくなり水棲生物が住めません。本来、河床は凸凹しているものです。河床のフラット化はプランの「自然環境保全」に反するものであり、解決策として、渇水時でも河川機能保全のため、河の中に川を残す工夫を望みます。</p>	<p>河川の整備方法につきましては、利活用のみならず治水および安全面を最大限に考慮したうえで総合的に判断する必要があることから、河川管理者にご意見を伝えてまいります。</p>

#### (4) プランの周知や取組事業についての意見 19 件

番号	ご意見の概要	本市の考え方
46	<p>実際、どの程度の市民がこのプランを知っているのか？市の掲示や HP 等、一部の PR では知名度は上がらないのではないのでしょうか。TV やラジオ、新聞などのメディアの利用を積極的に行うべきと思います。</p>	<p>これまでも個別の事業（イベントなど）ごとに、ラジオや新聞などのメディアを活用してまいりました。今後は、各事業の背景にある「広瀬川創生プラン」の周知方法についても検討してまいります。それぞれの事業が、広瀬川創生プランに基づく一連の取組みであることを周知することで、各実施主体の意識も向上するものと考えております。</p> <p>また、ホームページ等で広報する時期につきましてもご意見を参考にさせていただきます。</p>
47	<p>年度初めの4月の「市政だより」に年度の実施予定一覧表を掲載することで、見た方はその事業の多さに驚き、関心を示すと考えます。「広瀬川創生プラン」と「広瀬川市民会議」の認知度を高めると共に、その他の事業の認知度もあがり、今後の「広瀬川創生プラン」に対して多くの意見をいただけるはずで。</p>	
48	<p>取組事業は、それぞれの担当されている部署が目的に応じて進めていくことで良いと思いますが、それぞれが「広瀬川創生プラン」の取組事業に位置づけられている意識は薄いのではないのでしょうか？</p>	

49	<p>広瀬川に関する市民活動の具体的内容が不明ではないでしょうか。活動支援の必要性に関する検討も重要かと思えます。</p>	<p>行政の事業につきましては所管を記載しております。</p> <p>市民側の事業につきましては、個別の事業として独立している場合は、随時更新が可能な広瀬川ホームページにおいて所管団体名を記載し、事業主体を明記したいと考えております。</p>
50	<p>改定プラン全般について、事業主管個所の明記が必要です。</p>	
51	<p>取組事業一覧に、主体が市民会議とNPO等とありますが、市民会議がネットワーク組織であるなら分けている意味が分かりません。市民会議＝連携体、NPO＝単体ということでしょうか。</p>	<p>取組事業の実施主体の記載方法につきましては、ご指摘のとおり市民会議を中核とした連合体などによる実施と、その他の団体で分類しております。</p>
52	<p>取組み事業の紹介：せんだいセントラルパーク構想</p> <p>杜の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が都心と交差する広瀬川の流域一帯を、都市と自然が融合する「せんだいセントラルパーク（SCP）」と位置づけ、市民の生活文化の拠点であり観光交流の拠点となる賑わいのあるまちづくりの構想を掲げて、フォーラムや展示会の開催、ガイドブックやまち歩きマップの発行、ホームページの運営などを行う。</p>	<p>ご提供いただきました情報を、取組事業一覧に反映いたします。</p>
53	<p>取組み事業の紹介：SCPピクニック</p> <p>都市生活者と広瀬川周辺の大自然とのつながりを日常的に育んでいく取り組みとして、青葉山や広瀬川が都心と交差する広瀬川の流域一帯・せんだいセントラルパークのスペース（公園・道路歩道・公開空地・市民利用施設屋内等を含む）をフィールドに、誰もが気軽に参加できるピクニックを月1回行う。</p>	
54	<p>取組み事業の紹介：市民総体ダウンリバー大会（6月下旬）</p> <p>三居沢から角五郎までをカヌーで漕ぎくんだり、タイムを競う市民総体を開催する。</p>	
55	<p>取組み事業の紹介：広瀬川源流探索</p> <p>広瀬川の本流や支流の源を探索し、源流の碑を立てる。</p>	
56	<p>取組み事業の紹介：広瀬川中流域景観まちづくり協議会</p> <p>広瀬川を取り巻くまち並み（川並み）、歴史的景観。心の景観（ふるさとの景観）広瀬川を活かした都市づくりの研究ならびに提案を行う。</p>	



57	<p>フォーラム等のテーマ 仙台を舞台とした映画などを大々的にPRしてはどうでしょうか。</p>	<p>フォーラム等の開催につきましては、より多くの市民の方に関心を向けていただけるよう、いただいたご意見を参考にテーマを検討してまいります。</p>
58	<p>フォーラム等のテーマ 水辺空間の利活用を挙げて欲しい。</p>	
59	<p>フォーラム等のテーマ 流域の水環境、景観、親水空間の利活用、歴史・文化、地域の魅力発信</p>	
60	<p>従前の活動は風化しているものもあり、新たな市民参加の活動テーマが必要です。</p>	<p>取組事業一覧は、毎年度更新して広瀬川ホームページ上で公開することとし、随時反映が出来る体制といたしました。市民参加型の新たな取組みにつきましては、いただいたご意見を参考に検討してまいります。</p>
61	<p>広瀬川は都市を流れる川として変化に富み、美しい景観が処々にあります。その場所を探してはどうでしょうか。</p>	
62	<p>生物の多様性があり、サケの遡上も見られるこの川の水質を良好に保ってください。</p>	<p>広瀬川の清流を守る条例や、公共下水道事業・合流式下水道雨天時越流水対策事業などを適正に運用・実施し、良好な水質の保全に努めてまいります。</p>
63	<p>アンケート「広瀬川に『あまり関心が無い』『関心が無い』と答えた理由」において、半数以上の方が「自分の家から遠くにある川だから」と答えています。 新たな公共交通機関として地下鉄東西線が開業予定ですので、都心を貫く東西線が交差する広瀬川流域一帯における活動や事業に重点的に取り組むことで、“広瀬川が近くにある”という市民認識を向上させることができるのではないのでしょうか。</p>	<p>年度ごとの重点事業選定の際にご意見を参考にさせていただきます。</p>
64	<p>広瀬川創生プランの全体像が視覚的に把握できる工夫（上流から下流まで広瀬川について行われている施策を具体的に記したマップなど）があると良いと思います。</p>	<p>広瀬川ホームページのコンテンツとして、活動団体を視覚的に把握できるマップの作成を検討してまいります。</p>